学校番号	1302

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	歴史総合　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	近代化への問い 第１節 18 世紀のアジアの繁栄 第2節 産業革命と市民革命 第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大 第４節　アジア諸国の変貌と日本の開国	a:日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 b: 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取りくんでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第1節　第一次世界大戦と大衆社会 第2節　経済危機と第二次世界大戦 第3節　第二次世界の戦後処理と新たな国際秩序の形成	a:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、情勢を理解している。 b: 第一次世界大戦と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的･多角的に考察し、表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取りくんでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

3	グローバル化と私たち	第１節　冷戦と脱植民地化・第三世界と台頭 第２節　国際秩序の変容と２１世紀の世界	a: 自由・制限、平等・格差などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取りくんでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度